

2026年3月19日

「阿蘇水掛^{あそみずかけ}の棚田」自然共生サイトへの認定について

当行が水田湛水事業を支援する「阿蘇水掛の棚田」について、環境省の「自然共生サイト」に認定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。本件は、公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金と当行が共同で申請を行い、認定を受けたものです。

今後も引き続き、水資源や生物多様性の保全に努め、持続可能な地域社会の実現を目指して、地域の皆さまとともに取り組んでまいります。

記

1. 自然共生サイトについて

企業の森や里地里山、都市の緑地など「民間の活動等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として環境省が認定するものです。

2. 阿蘇水掛の棚田について

地下水保全および耕作放棄地解消を目的に、2011年2月に公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金と阿蘇市との間で「農業・水田湛水事業に関する協定」を締結し、「阿蘇水掛の棚田」と命名した棚田において、例年5月に当行グループ役員及びSDGsに取り組む稲作ボランティア企業等による田植えを行い、10月には稲刈りを行っております。手植え、手刈り、天日干しといった伝統的農法に加え、生物多様性を重視し、有機肥料、低農薬による環境に優しい農業に取り組んでいます。

今回認定に至った背景には、現在阿蘇水掛の棚田で生息・生育が確認されている希少な動植物種の環境を保全する取り組みがあるほか、周辺の黒川遊水地などで確認されている重要種（オオゲンゴロウ、マルタニシ、モートンイトトンボ）が生息できる環境を創出し、生息地の拡大を目指している点が挙げられます。

3. 当行の取り組みについて

当行は、2023年6月より環境省が主導する「生物多様性のための30by30（サーティ・バイ・サーティ）アライアンス」に参画しています。

また、九州フィナンシャルグループでは、環境省が事務局を務めるJ-GBF（2030生物多様性枠組実現日本会議）の趣旨に賛同し、KFGパーパスならびに生物多様性保全方針に基づくネイチャーポジティブ宣言を公表しています。

4. 認定日

2026年3月17日



認定証授与式の様子

(阿蘇水掛の棚田の様子)

㍷



再生前



再生後

以 上

《本件に関するお問い合わせ》

肥後銀行 経営企画部サステナビリティ推進室

担当：坂口

電話番号：096-326-8603